

「厚木小学校避難所運営訓練」を支援

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山1海尉）は、11月27日（日）、厚木小学校避難所運営委員会が主催した「厚木小学校避難所運営訓練」を支援した。

本訓練は、「防災」をテーマに小学校近傍住民の防災意識の高揚を目的に実施されたもので、久里浜駐屯地に所在する中央野外通信群の協力を得て、野外炊具1号による豚汁の炊き出しを行った。当日は、自衛隊の災害派遣に関する講話の後、隊員と同運営委員とが協力して炊き出しを行い、約300人の訓練参加者に豚汁を振る舞った。参加者からは「自衛隊の豚汁は美味しいですね」「自衛隊員はみんな料理ができるのですか」との声が聞かれるなど、自衛隊員の意外な一面を知って驚いた様子であった。

厚木募集案内所は、「今後も、地域住民にとって有意義な訓練になるような企画を追求し、効果的な広報活動に取り組んでいく」としている。



豚汁を受け取る
保護者と小学生



野外炊具について質問する訓練参加者



豚汁を待つ訓練参加者



豚汁の材料を細断する
運営委員と隊員

大学合同企業研究会で自衛隊の魅力をアピール

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山1海尉）は、12月2日（金）、松蔭大学で行われた合同企業研究会に参加し、自衛隊の魅力をアピールした。

この研究会は、学生に各企業等の魅力を伝えて進路決定の一助とさせたいという大学側の意向により実施されたもので、自衛隊ブースを訪れた多くの学生に自衛隊の職種の多さややりがいなどを広報した。学生からは「心理学を学んでいます。自衛隊で活かせる職種はありますか」「警察、消防とはどのようなところが違いますか」などの質問の他、女子学生からは「女性自衛官はどのような仕事をしています、何名くらい勤務していますか」との質問もあり、学生とのコミュニケーションがとれる良い機会となった。

厚木募集案内所は、「今後も地域の大学と連携し、一人でも多くの学生に自衛隊の魅力を伝え、興味を持ってもらえるよう努力する」としている。